

# 学校を支える地域と社会教育

(報告)

平成 28 年 8 月 23 日

第 34 期静岡県社会教育委員会

## 目 次

はじめに	1
第1章 学校を支える意義・必要性	
— 子ども・家庭・学校の状況と課題	2
1 子どもの状況と課題	2
2 家庭の状況と課題	4
3 学校の状況と課題 — 教育改革の動向を中心に	5
(1) 学校制度の改革	5
(2) チームとしての学校	6
(3) 社会に開かれた教育課程	8
(4) 地域とともにある学校	9
(5) 「しずおか型」コミュニティ・スクール	9
(6) 学校支援地域本部の動向—「地域学校協働本部」の提唱	12
第2章 地域・社会教育による学校支援の現状と課題	14
1 学校を支える社会教育の役割	14
2 社会教育による「間接的学校支援」の機能	15
(1) 体験活動、ボランティア活動	15
(2) 困難を有する子どもへの支援	16
(3) 家庭教育支援	17
(4) 地域教育力の向上	17
3 地域・社会教育による学校支援の現状	18
(1) 「熟議」にかかわる支援	18
(2) 「協働」にかかわる支援	20
(3) 「マネジメント」にかかわる支援	22
4 学校支援の課題	23
(1) ボランティア人材の確保	23
(2) 地域コーディネーターの確保・養成	23
(3) 校内体制の工夫と教職員の理解促進	24
(4) 「熟議」と「協働」のバランス確保	24

(5) 情報発信・啓発活動	24
(6) 行政による下支え	25
(7) 財源の安定的確保	25
第3章 求められる学校支援の方向性	26
1 社会教育の視点からみた学校支援の在り方	26
2 「学校を支える地域活動」の視点でとらえる社会教育	29
3 静岡県における地域の学校支援施策について	30
(1) 学校支援地域本部、放課後子ども教室等の事業の方向性	30
(2) 新たな人材の掘り起しと活用	30
(3) 静岡県独自の課題・テーマ設定	31
第4章 学校を支える施策の今後の在り方	34
1 地域プラットフォームによる学校支援	34
(1) 学校支援のための「地域プラットフォーム」	34
(2) 学校支援のための「地域プラットフォーム」の類型と機能	36
(3) 地域プラットフォームを機能させるために	
－地域への提言	37
(4) 地域プラットフォームを機能させるために	
－行政への提言	39
2 ライフステージにそった循環型支援体制の構築	42
(1) 学校支援の取組で育った人材が学校支援に関わるサステイナブルな地域社会へ	42
(2) 地域が活性化し、持続していくための鍵としての教育と拠点としての学校	43
(3) 循環型支援体制の構築のために	44
おわりに	46
(巻末資料1) 関係取組事例	47
(巻末資料2) 関連主要事業	75
第34期静岡県社会教育委員	96
第34期静岡県社会教育委員会審議経過の概要	97